

指標項目検討結果一覧

第8回環境審議会
資料2

環境基本計画基本目標	I 安全で健康に暮らせるまち			
環境保全項目	I-1 さわやかな空気と静けさを確保する			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果 (担当課からの回答)
市営駐車場駐車台数	既存のパークアンドライド駐車場や市営駐車場の利用推進を図ります。		管理課	目標を立てて積極的に取り組んでいるわけではないので、指標としては適さない。施策・取り組みの文章中に、「LED化を進める」という一文を載せてほしい。
循環バス利用者数	市内循環バス(オレンジバス)やデマンド交通、住民主導の乗合タクシー等、各種事業の活性化を図り、啓発活動により利用促進を図ります。	循環バス等利用者 目標 58,000人	地域交通政策課	H23 58,457人
しなの鉄道	上田電鉄別所線やしなの鉄道などの公共交通機関の利用促進を、関係団体との連携を図り進めます。	しなの鉄道市内4駅乗降者数 目標 5,800,000人	地域交通政策課	H23 5,897,949人
レンタサイクルの貸出数	レンタサイクルの充実等により、自転車の利用の推進を図ります。	別所線レンタサイクル事業 目標 400台	地域交通政策課	H23 448台
レンタサイクルの利用者数	レンタサイクルの充実等により、自転車の利用の促進と啓発を図ります。	貸出期間中(4月から11月まで)の延べ人数 2,500人	都市計画課	H23 2,841人

環境基本計画基本目標	I 安全で健康に暮らせるまち			
環境保全項目	I-3 有害化学物質による汚染を未然に防止する			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
アスベスト飛散防止対策事業補助件数	工場・事業所等からの有害物質の大気や河川、土壌への排出に関する監視・指導を行います。		建築指導課	環境施策の内容は、県環境課の業務であると思われる。また、目標設定も出来ないため、市環境基本計画には載せるべきではないと思われる。

環境基本計画基本目標	Ⅱ 自然・いきもの・人が共生するまち			
環境保全項目	Ⅱ-1 森や里山を守り・親しむ			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
松くい虫被害木の処理量	松くい虫防除対策を推進し、松枯れによる広範囲の森林の喪失を防止します。	8,000m ³ /年	森林整備課	H23 8,744m ³
アレチウリの駆除実施面積、駆除回数、参加団体数	アレチウリやオオカワヂシャなどの特定外来植物の駆除を実施し、外来動植物対策を推進します。		生活環境課	効果が目に見えやすい指標項目の設定ができないため、指標には適さない。
ボランティアによる森林整備、遊歩道整備、緑の募金運動実績、植林面積	ボランティアによる森林整備や市民協働による遊歩道整備など、住民の主体的な森林整備活動を支援します。「緑の募金」運動や市民参加型の植林活動である植樹祭などを通じ、将来にわたり緑豊かな森林環境保全への啓発活動を行います。		森林整備課	・ボランティアによる森林整備、遊歩道整備は市民の発意により実施されるものであり、市で目標を設定することはなじまない。 ・「緑の募金」は長野県緑の基金で行われており、市で募金活動の目標を設定することはなじまない。 ・植林は上小地方事務所が主体となり上小の市町村を主会場として植樹祭が行われている。この植樹祭は上小地域の緑化の推進を図り、森林の愛護・育成することの大切さを普及させるためのもので、市で植林面積の目標を設定することはなじまない。

環境基本計画基本目標	Ⅱ 自然・いきもの・人が共生するまち			
環境保全項目	Ⅱ-2 水辺環境を守り・親しむ			
環境指標	環境施策	目標	担当課	検討結果(担当課からの回答)
ホタル発見地点数	地域住民やNPO、各種団体との協働により、河川環境の保全活動を推進します。		下水道課	【基本計画に載せるべきものではない理由】 ・目標値の設定が困難 ・データ値を住民からの任意報告に依存していること。 ・寄せられた報告地点(箇所)が、重複しているなどの確認が困難であること。
外来魚の捕獲処理数	河川の生態系に配慮しながら、アユ、ウグイなどの放流と魚種の育成を図り、河川環境の改善と水産資源の育成を進めます。		農政課	漁協による河川における捕獲処理数の実績は確認できるが、市内の農業用ため池や用水を含めた水利施設における外来魚の潜在数が現時点では不明なことから捕獲数処理などの数値目標の設定は困難である。

環境基本計画基本目標	Ⅲ 地域資源を活かし地球にやさしいまち			
環境保全項目	Ⅲ-1 循環型社会の形成に努める			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
耐震補強工事補助事業	建築物の耐震化により災害に強いまちづくりを進めます。		建築指導課	耐震補強工事が高額であること、今後補助額(国費等)の減少や消費税率の変更により実際の施行率が大変低くなる可能性がある。

環境基本計画基本目標	Ⅲ 地域資源を活かし地球にやさしいまち			
環境保全項目	Ⅲ-2 地球温暖化防止活動を推進する			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
新技術等開発事業助成件数			商工課	当該助成金事業は環境目的・環境指標に適合する事業ではないため。

環境基本計画基本目標	Ⅳ 歴史や調和を大切にするまち			
環境保全項目	Ⅳ-2 緑あふれるまちをつくる			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
自治会への花苗配布本数	街路樹の植樹や緑地帯の確保に努めるとともに、花の種銀行や花苗の配布等により花壇の整備に努めます。	花苗配布 年127,000本	公園緑地課	H23 127,023本
里山整備ボランティア	染屋河岸段丘のグリーンベルトに代表される市街地近郊の斜面樹林や河川緑地を重要な緑の空間として保全、整備を進めます。	里山整備ボランティア 年7回	公園緑地課	H23 9回

環境基本計画基本目標	Ⅳ 歴史や調和を大切にするまち			
環境保全項目	Ⅳ-3 調和のとれた美しい景観を保つ			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
放置自転車撤去件数	不法投棄防止やクリーンキャンペーンなど環境美化活動の普及啓発に努め、市民・事業者の参加を推進します。		管理課	目標を立てて積極的に取り組んでいるわけではないので、指標としては適さない。施策・取り組みの文章中に、「LED化を進める」という一文を載せてほしい。
バリアフリー化歩道新設延長	公園、緑地、史跡及び都市施設を結ぶ道路においては、周辺の優れた景観を取り込んだ道路づくりを進めます。		土木課	環境施策欄にあるような整備は現在進められておらず、目標設定は難しい状況です。【参考】通常の歩道整備は、現在3路線で実施しておりますが、平成26年度以降1路線の予定と減少傾向となっております。

環境基本計画基本目標	V 環境を思いやる人があふれるまち			
環境保全項目	V-1 環境にやさしい人を育む			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
児童による田植えへの参加人数	身近な自然との関わりなど、環境の大切さが実感できる体験的な学習を重視した環境教育をそれぞれの地域の特性をふまえながら推進します。		学校教育課	目標を立てて行っていないので目標の設定はできない。丸子・真田・武石地域でも同様の事業を行っているが、参加人数は把握していない。
野外活動体験教室事業参加人数	里山体験学習や水辺の体験学習など、学校外での環境学習機会の場を充実させるとともに、これらの学習に関する情報を、学校や地域に積極的に発信していきます。		生涯学習課	目標は立てておらず、募集があるに任せているのが現状。目標の設定はできない。

環境基本計画基本目標	V 環境を思いやる人があふれるまち			
環境保全項目	V-3 環境活動を発信する			
環境指標	環境施策	目標 (平成29年度)	担当課	検討結果(担当課からの回答)
グリーンツーリズム・エコツーリズム・フィルムツーリズムの実施数	「稲倉の棚田」をはじめ、上田市の持つ豊かな自然や優美な景観を活かし、グリーンツーリズム・エコツーリズム・フィルムツーリズムについて、上田市の文化・自然を活かした推進を図ります。		観光課	具体的な実施数は把握しておらず、数値目標の設定はできない。
物産展開催回数 上田ブランド数 農業体験者数	「大収穫祭」などのイベントや物産展の開催及び、姉妹都市・友好提携都市等への働きかけを通じて、果樹やマツタケなど「上田ブランド」としての名産品、特産品の販売・PRに努めます。大都市圏からのホームステイ受け入れなど、農村生活・農業体験の交流を推進します。		農政課	物産展開催数については、姉妹都市、防災協定都市等に限って出展を行っているため、数値目標の設定は困難である。また、農業体験者数については、受入家庭数や圃場の確保などこれ以上増やすことは難しいため、数値目標の設定は困難である。
環境大使の人数	上田環境大使を創設し、姉妹都市や友好都市提携地域などとの環境情報の交換や交流の推進を検討します。			環境大使は現在のところ創設されておらず、現時点で指標とすることは不可能である。
田植体験の受け入れ人数	稲倉の棚田など、希少な山間地の農地の保全を推進します。		農政課	これ以上田植え体験の受入ができないため(体験場所の確保及び指導者の確保が難しい)、受入人数については目標を定めるのは困難である。